

## 令和４年度 全国学力・学習状況調査の結果について

R4.7.28 秋田県教育委員会

### 概 観

- 平成１９年度の調査開始以来、連続して良好な状況にある。
  - ・各教科の平均正答率は、小・中学校ともに、全国の平均正答率を上回っている。
  - ・児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の結果において、肯定的な回答の割合が全国平均を上回っている項目が多い。
- 各教科の良好な状況に加え、児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の結果には、児童生徒が望ましい生活習慣や学習習慣を身に付けている状況が表れている。今年度の調査では、ＩＣＴ活用に関して、より具体的な質問が出されたが、全国と比較して、ＩＣＴ活用が学習に役立っていると感じている児童生徒の割合は高い。
- このような状況は、“秋田わか杉 七つの「はぐくみ」”に示している本県の優れた教育環境によるものであり、学校、家庭、地域、大学等が手を携え、オール秋田で成し遂げられたものであると捉えている。

“秋田わか杉 七つの「はぐくみ」”にみる秋田の優れた教育環境

- ・児童生徒の望ましい生活習慣・学習習慣
- ・各学校における児童生徒一人一人へのきめ細かな指導と授業改善への取組
- ・学校と家庭、地域との連携・協働による質の高い教育力

- 県教育委員会では、今年度を含めた計１４回の調査結果により、これまで行ってきた施策・事業について一定の評価ができると考えている。特に、少人数学習推進事業、県学習状況調査、各学校が共同研究体制のもと実施している授業改善の取組等は、大きな成果を上げているものと考えている。
- 今後も、教育関係者はもとより、県民の皆様の御理解と御協力をいただきながら、オール秋田で「ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり」を目指し、「教育立県あきた」の実現に努めていく。

### 調査結果の活用

- 今後、各学校においては、提供された自校の結果を基に成果と課題を明らかにして、指導の改善を図るとともに、児童生徒個々の課題の解決に向けた取組を進めることとなる。県教育委員会では、本調査の活用に係る検証改善委員会を立ち上げ、これまでの課題の改善状況や今年度の結果から明らかになった課題等について詳細な分析を進め、各学校を支援していく。
- また、本調査と県学習状況調査、高校入試を一体として捉えた本県独自の検証改善サイクルの機能を引き続き重視していく。具体的には、本調査で見られた課題の解決に向けて、課題改善サポート問題を作成し、各学校に提供するとともに、県学習状況調査においても課題の改善状況を把握する。さらに高校入試では、思考力・判断力・表現力等を用いて解決する問題を出題するなどし、確かな学力を身に付けた児童生徒の育成に努めるようにする。

## 教科に関する調査の結果

### ◆概 要

- 本県の平均正答率は、小・中学校ともに全ての教科において全国平均を上回っており、良好な状況である。
- 小・中学校ともに、多くの問題（小：93.6%、中：79.6%）において、本県の平均正答率は全国平均を上回っている。
- 小・中学校ともに、全ての問題の無解答率は全国平均以下になっている。
- 正答数分布については、正答数の少ない層の割合が全国に比べて低い傾向が見られる。（p 3～5 参照）
- 正答率が十分ではない問題については、指導の改善・充実を図り、学習内容を定着させていく必要がある。

### ◆平均正答率 [%]

※（ ）内の数値は全国比

| 年度          | 小 学 校 6 年 生 |            |            |
|-------------|-------------|------------|------------|
|             | 国語          | 算数         | 理科         |
| R4          | 71<br>(+5)  | 66<br>(+3) | 71<br>(+8) |
| R3          | 71<br>(+6)  | 72<br>(+2) |            |
| H31<br>(R1) | 74<br>(+10) | 70<br>(+3) |            |

| 中 学 校 3 年 生 |            |            |            |
|-------------|------------|------------|------------|
| 国語          | 数学         | 理科         | 英語         |
| 73<br>(+4)  | 54<br>(+3) | 52<br>(+3) |            |
| 68<br>(+3)  | 60<br>(+3) |            |            |
| 78<br>(+5)  | 65<br>(+5) |            | 57<br>(+1) |

|     | 国語A<br>(知識)    | 国語B<br>(活用)     | 算数A<br>(知識)    | 算数B<br>(活用)    | 理科             |
|-----|----------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|
| H30 | 77<br>(+6)     | 61<br>(+6)      | 67<br>(+3)     | 57<br>(+5)     | 66<br>(+6)     |
| H29 | 80<br>(+5)     | 64<br>(+6)      | 84<br>(+5)     | 50<br>(+4)     |                |
| H28 | 77<br>(+4)     | 64<br>(+6)      | 82<br>(+4)     | 52<br>(+5)     |                |
| H27 | 76.0<br>(+6.0) | 76.4<br>(+11.0) | 81.2<br>(+6.0) | 51.5<br>(+6.5) | 66.7<br>(+5.9) |
| H26 | 77.4<br>(+4.5) | 67.3<br>(+11.8) | 85.1<br>(+7.0) | 66.2<br>(+8.0) |                |
| H25 | 71.7<br>(+9.0) | 59.1<br>(+9.7)  | 82.8<br>(+5.6) | 67.1<br>(+8.7) |                |
| H24 | 86.9<br>(+5.3) | 63.0<br>(+7.4)  | 79.5<br>(+6.2) | 64.0<br>(+5.1) | 68.4<br>(+7.5) |
| H22 | 89.3<br>(+6.0) | 84.8<br>(+7.0)  | 83.2<br>(+9.0) | 59.0<br>(+9.7) |                |
| H21 | 75.3<br>(+5.4) | 60.4<br>(+9.9)  | 86.2<br>(+7.5) | 63.7<br>(+8.9) |                |
| H20 | 74.4<br>(+9.0) | 62.9<br>(+12.4) | 80.7<br>(+8.5) | 58.9<br>(+7.3) |                |
| H19 | 86.1<br>(+4.4) | 69.0<br>(+7.0)  | 88.4<br>(+6.3) | 68.6<br>(+5.0) |                |

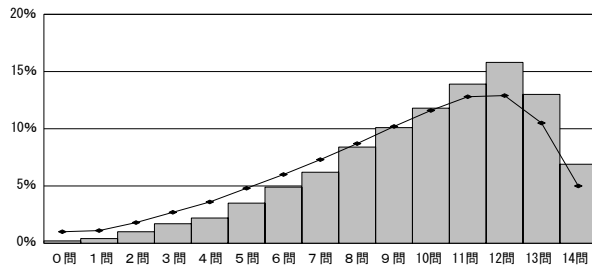
| 国語A<br>(知識)    | 国語B<br>(活用)    | 数学A<br>(知識)    | 数学B<br>(活用)    | 理科             |  |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|--|
| 80<br>(+4)     | 66<br>(+5)     | 70<br>(+4)     | 51<br>(+4)     | 70<br>(+4)     |  |
| 82<br>(+5)     | 78<br>(+6)     | 68<br>(+3)     | 52<br>(+4)     |                |  |
| 79<br>(+3)     | 72<br>(+5)     | 67<br>(+5)     | 48<br>(+4)     |                |  |
| 80.8<br>(+5.0) | 70.7<br>(+4.9) | 68.4<br>(+4.0) | 46.9<br>(+5.3) | 59.6<br>(+6.6) |  |
| 84.4<br>(+5.0) | 55.8<br>(+4.8) | 73.0<br>(+5.6) | 65.5<br>(+5.7) |                |  |
| 81.9<br>(+5.5) | 74.6<br>(+7.2) | 68.9<br>(+5.2) | 47.5<br>(+6.0) |                |  |
| 79.7<br>(+4.6) | 70.3<br>(+7.0) | 67.4<br>(+5.3) | 56.7<br>(+7.4) | 56.1<br>(+5.1) |  |
| 79.8<br>(+4.7) | 71.7<br>(+6.4) | 70.8<br>(+6.2) | 50.0<br>(+6.7) |                |  |
| 82.3<br>(+5.3) | 81.8<br>(+7.3) | 68.8<br>(+6.1) | 63.4<br>(+6.5) |                |  |
| 78.6<br>(+5.0) | 66.8<br>(+6.0) | 70.1<br>(+7.0) | 54.7<br>(+5.5) |                |  |
| 85.4<br>(+3.8) | 77.0<br>(+5.0) | 77.5<br>(+5.6) | 65.3<br>(+4.7) |                |  |

- \* 各教科の平均正答率は、当該教科における設問ごとの正答率の平均として求めた値と同じといえます。
- \* 令和2年度調査は、新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し、実施されませんでした。
- \* 平成31年度（令和元年度）から、従来のA問題（知識）とB問題（活用）を一体的に問う調査問題で実施されています。
- \* 平成31年度（令和元年度）の中学校英語の調査結果は、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」を集計したものです。
- \* 全国比は、文部科学省が公表した全国平均正答率を四捨五入し、整数値として算出しています。
- \* 都道府県別の平均正答率は、文部科学省が平成28年度から整数で公表しています。
- \* 平成22年度、平成24年度の平均正答率については、文部科学省から抽出調査における誤差も含めた「平均正答率の95%信頼区間」が公表されており、その区間の中央値を示しています。

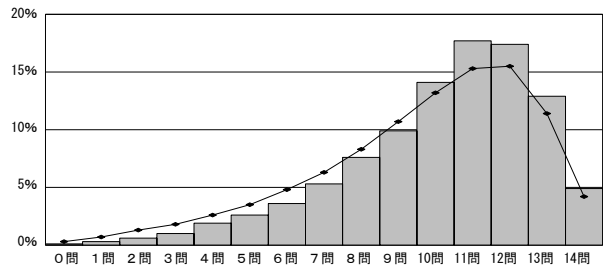
## 各教科の成果と課題

【国語】 棒グラフ：秋田県、折れ線グラフ：全国（横軸は正答数、縦軸は児童生徒の人数の割合）

＜小学校＞



＜中学校＞



◇平均正答率 [%]

※（ ）内の数値は全国比

|     |     | 全体   | 学習指導要領の内容 |     |        |          |        |        | 問題形式   |        |        |
|-----|-----|------|-----------|-----|--------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
|     |     |      | 知識・技能     |     |        | 思考・判断・表現 |        |        | 選択式    | 短答式    | 記述式    |
|     |     |      | (1)       | (2) | (3)    | A        | B      | C      |        |        |        |
| 小学校 | 秋田県 | 71   | 75.9      |     | 83.1   | 71.5     | 53.9   | 69.4   | 75.0   | 72.9   | 57.3   |
|     | 全国  | 65.6 | (+6.9)    |     | (+5.2) | (+5.3)   | (+5.4) | (+2.8) | (+3.2) | (+9.3) | (+6.0) |

|     |     | 全体   | 学習指導要領の内容 |        |        |          |        |        | 問題形式   |        |        |
|-----|-----|------|-----------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
|     |     |      | 知識・技能     |        |        | 思考・判断・表現 |        |        | 選択式    | 短答式    | 記述式    |
|     |     |      | (1)       | (2)    | (3)    | A        | B      | C      |        |        |        |
| 中学校 | 秋田県 | 73   | 75.7      | 52.8   | 72.0   | 67.7     | 52.8   | 72.1   | 76.3   | 73.8   | 62.7   |
|     | 全国  | 69.0 | (+3.5)    | (+6.3) | (+1.8) | (+3.8)   | (+6.3) | (+4.2) | (+2.6) | (+3.5) | (+5.3) |

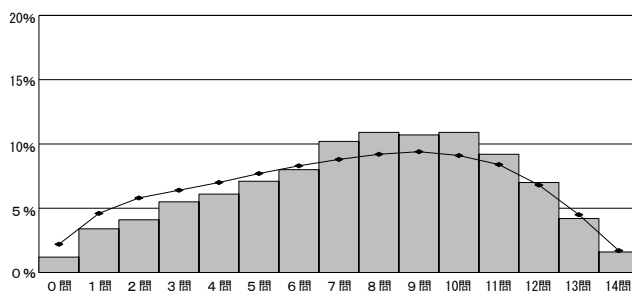
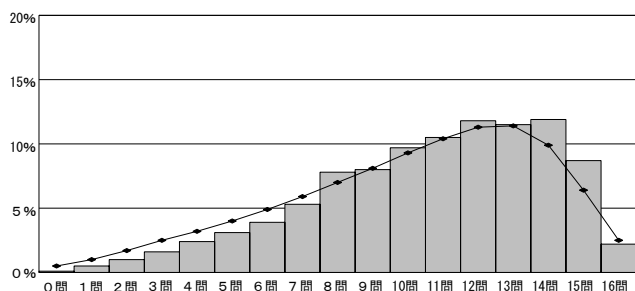
(1)言語の特徴や使い方に関する事項 (2)情報の扱い方に関する事項 (3)我が国の言語文化に関する事項 A話すこと・聞くこと B書くこと C読むこと

- 平均正答率は、小学校で5ポイント程度、中学校で4ポイント程度、全国平均を上回っている。
- 小学校では、「A話すこと・聞くこと」及び「B書くこと」において5ポイント以上、全国平均を上回っている。中学校では、「B書くこと」において6ポイント以上、全国平均を上回っている。
- 小学校では、話し合いの参加者の立場や発言の意図を的確に捉えた上で、話題に対する自分の考えをまとめることや、書かれた文章のよさを見付けることに課題が見られる。
  - 中学校では、スピーチの具体的な部分を取り上げ、その部分の話し方の工夫と意図をまとめることや、書写に関して、行書の書き方の特徴を理解することに課題が見られる。

●指導の改善が求められる問題

|     | 問題番号 | 平均正答率(%) |      | 問題の概要                                                      | 出題の趣旨                                |
|-----|------|----------|------|------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
|     |      | 秋田県      | 全国   |                                                            |                                      |
| 小学校 | 1四   | 56.2     | 47.7 | 「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、 <input type="text"/> でどのように話すかを書く。 | 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる。 |
|     | 3二   | 44.7     | 37.7 | 【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く。                               | 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。   |
| 中学校 | 1三   | 55.7     | 51.8 | スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く。                     | 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す。         |
|     | 4一   | 39.4     | 39.4 | 行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する。                      | 行書の特徴を理解する。                          |

【算数・数学】 棒グラフ：秋田県、折れ線グラフ：全国（横軸は正答数、縦軸は児童生徒の人数の割合）  
 〈小学校〉 〈中学校〉



◇平均正答率 [%]

※（ ）内の数値は全国比

|     |     | 全体   | 学習指導要領の領域 |        |        |         | 問題形式   |        |        |
|-----|-----|------|-----------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|
|     |     |      | A数と計算     | B図形    | C変化と関係 | Dデータの活用 | 選択式    | 短答式    | 記述式    |
| 小学校 | 秋田県 | 66   | 75.0      | 65.7   | 54.2   | 70.1    | 54.5   | 79.3   | 65.1   |
|     | 全国  | 63.2 | (+5.2)    | (+1.7) | (+2.9) | (+1.4)  | (+2.7) | (+2.8) | (+4.9) |
|     |     | 全体   | 学習指導要領の領域 |        |        |         | 問題形式   |        |        |
|     |     |      | A数と式      | B図形    | C関数    | Dデータの活用 | 選択式    | 短答式    | 記述式    |
| 中学校 | 秋田県 | 54   | 65.2      | 42.2   | 44.2   | 58.7    | 52.4   | 71.3   | 39.0   |
|     | 全国  | 51.4 | (+7.8)    | (-1.4) | (+0.6) | (+1.6)  | (-0.2) | (+5.6) | (+2.8) |

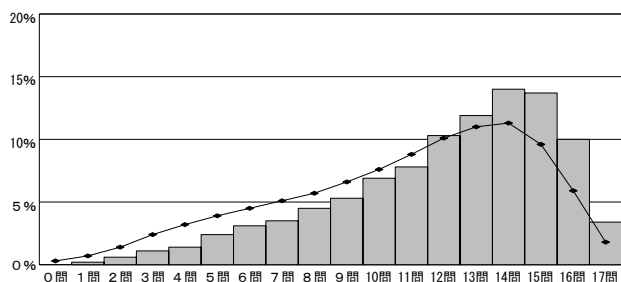
- 平均正答率は、小学校で3ポイント程度、中学校で2ポイント以上、全国平均を上回っている。  
 ○小学校では、「A数と計算」の領域において5ポイント以上、全国平均を上回っている。中学校では、「A数と式」の領域において7ポイント以上、全国平均を上回っている。  
 ●小学校では、百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることや、正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述することに課題がみられる。  
 ●中学校では、反例の意味を理解することや、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することに課題がみられる。

●指導の改善が求められる問題

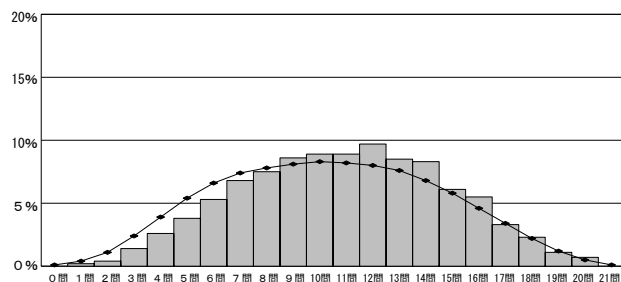
|     | 問題番号 | 平均正答率(%) |      | 問題の概要                                                  | 出題の趣旨                                                      |
|-----|------|----------|------|--------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
|     |      | 秋田県      | 全国   |                                                        |                                                            |
| 小学校 | ②(2) | 64.1     | 64.6 | 果汁が40%含まれている飲み物の量が1000mLのときの、果汁の量を書く。                  | 百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができる。                            |
|     | ③(2) | 63.9     | 63.9 | 分類整理されたデータから、全員の希望が一つは通るように、遊びを選ぶ。                     | 分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる。                        |
|     | ④(1) | 48.7     | 48.8 | 示されたプログラムについて、正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直す。              | 正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる。 |
| 中学校 | ③    | 42.4     | 44.9 | ある予想がいつでも成り立つかどうかを示すことについて、正しく述べたものを選ぶ。                | 反例の意味を理解している。                                              |
|     | ④    | 37.5     | 37.9 | 変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ。                             | 一次関数の変化の割合の意味を理解している。                                      |
|     | ⑨(2) | 10.3     | 12.5 | ∠ABEと∠CBFの和が30°になる理由を示し、∠EBFの大きさがいつでも60°になることの説明を完成する。 | 筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる。                             |

【理科】 棒グラフ：秋田県、折れ線グラフ：全国（横軸は正答数、縦軸は児童生徒の人数の割合）

＜小学校＞



＜中学校＞



◇平均正答率 [%]

※（ ）内の数値は全国比

|     |     | 全体   | 学習指導要領の領域 |        |        |        | 問題形式   |         |         |
|-----|-----|------|-----------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|
|     |     |      | エネルギー     | 粒子     | 生命     | 地球     | 選択式    | 短答式     | 記述式     |
| 小学校 | 秋田県 | 71   | 57.9      | 69.2   | 81.8   | 73.4   | 72.2   | 78.1    | 57.4    |
|     | 全国  | 63.3 | (+6.3)    | (+8.8) | (+6.8) | (+8.8) | (+5.4) | (+11.9) | (+10.1) |
|     |     | 全体   | 学習指導要領の領域 |        |        |        | 問題形式   |         |         |
|     |     |      | エネルギー     | 粒子     | 生命     | 地球     | 選択式    | 短答式     | 記述式     |
| 中学校 | 秋田県 | 52   | 45.7      | 53.4   | 61.6   | 45.2   | 51.6   | 25.8    | 58.9    |
|     | 全国  | 49.3 | (+3.8)    | (+2.5) | (+3.7) | (+0.9) | (+2.0) | (+1.0)  | (+5.4)  |

- 平均正答率は、小学校で8ポイント程度、中学校で3ポイント程度、全国平均を上回っている。
- 小学校では、「粒子」及び「地球」を柱とする領域において8ポイント以上、全国平均を上回っている。中学校では、「エネルギー」及び「生命」を柱とする領域において3ポイント以上、全国平均を上回っている。
- 小学校では、日光が直進するという知識を概念的に理解すること、実験の結果を問題の視点で分析・解釈し、問題に対するまとめの根拠を記述することに課題が見られる。
- 中学校では、天気の変化を分析して解釈すること、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明すること、状態変化に関する知識及び技能を活用することに課題が見られる。

●指導の改善が求められる問題

|     | 問題番号 | 平均正答率(%) |      | 問題の概要                                            | 出題の趣旨                                                           |
|-----|------|----------|------|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
|     |      | 秋田県      | 全国   |                                                  |                                                                 |
| 小学校 | ③(1) | 33.4     | 27.8 | 光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ。      | 日光は直進することを理解している。                                               |
|     | ③(4) | 42.7     | 35.1 | 問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く。                   | 実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。                    |
| 中学校 | ②(2) | 39.5     | 40.8 | 気圧、気温、湿度の変化をグラフから読み取り、雲の種類の変化と関連付けて、適切な天気図を選択する。 | 継続的に記録した空の様子を撮影した画像と百葉箱の観測データを天気図に関連付けて、天気の変化を分析して解釈できるかどうかをみる。 |
|     | ⑤(1) | 17.0     | 15.3 | おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する                | 力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる        |
|     | ⑦(1) | 35.3     | 35.9 | 液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択する。              | 液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な事象を問うことで、状態変化に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる。  |

## 児童生徒質問紙調査の結果

※数値は「している」「どちらかといえば、している」等、肯定的な回答の割合（％）  
（ ）内の数値は、肯定的な回答のうち「している」等と回答した割合（％）

### 【生活習慣】

○全体として、望ましい生活習慣が定着していると考えられる。

| 質 問 事 項              | 小学校 6 年生       |                  | 中学校 3 年生       |                  |
|----------------------|----------------|------------------|----------------|------------------|
|                      | 秋田県            | 全国比              | 秋田県            | 全国比              |
| 朝食を毎日食べていますか。        | 96.2<br>(87.5) | + 1.8<br>(+ 2.6) | 93.9<br>(84.6) | + 2.0<br>(+ 4.7) |
| 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。 | 93.5<br>(62.8) | + 3.1<br>(+ 6.0) | 94.4<br>(64.8) | + 2.2<br>(+ 8.0) |

### 【学習習慣】

○家庭学習に主体的に取り組むなど、望ましい学習習慣が定着していると考えられる。

| 質 問 事 項                                      | 小学校 6 年生        |                  | 中学校 3 年生        |                  |
|----------------------------------------------|-----------------|------------------|-----------------|------------------|
|                                              | 秋田県             | 全国比              | 秋田県             | 全国比              |
| 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。                        | 86.2<br>(45.7)  | +15.1<br>(+18.2) | 72.4<br>(27.7)  | +13.9<br>(+12.3) |
| 学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。 | (30分以上)<br>95.0 | + 9.8            | (1時間以上)<br>81.6 | +12.1            |

### 【豊かな人間性等】

○自己肯定感や他の人を思いやる心が醸成されている様子がうかがえる。  
○将来の夢や目標を持ち、自分でやると決めたことはやり遂げるようにしていると回答した児童生徒の割合が全国の平均を上回っている。

| 質 問 事 項                      | 小学校 6 年生       |                  | 中学校 3 年生       |                  |
|------------------------------|----------------|------------------|----------------|------------------|
|                              | 秋田県            | 全国比              | 秋田県            | 全国比              |
| 自分には、よいところがあると思いますか。         | 85.6<br>(44.1) | + 6.3<br>(+ 4.7) | 83.8<br>(41.4) | + 5.3<br>(+ 5.4) |
| 将来の夢や目標を持っていますか。             | 86.8<br>(68.7) | + 7.0<br>(+ 8.3) | 75.9<br>(48.2) | + 8.6<br>(+ 8.4) |
| 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。 | 92.1<br>(48.4) | + 4.9<br>(+ 9.6) | 91.3<br>(47.9) | + 4.7<br>(+11.1) |
| 人が困っているときは、進んで助けていますか。       | 91.5<br>(49.1) | + 2.6<br>(+ 4.2) | 92.3<br>(49.9) | + 3.9<br>(+ 9.3) |

### 【地域との関わり等】

○コロナ禍で地域の行事に参加する機会が減っている中でも、地域に対する関心を持ち、できるだけ地域と関わろうとする意欲があることがうかがえる。

|                                  |                |                  |                |                  |
|----------------------------------|----------------|------------------|----------------|------------------|
| 今住んでいる地域の行事に参加していますか。            | 66.6<br>(36.1) | +13.9<br>(+12.7) | 52.1<br>(21.9) | +12.1<br>(+ 7.6) |
| 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。 | 66.5<br>(26.7) | +15.2<br>(+ 9.1) | 60.7<br>(21.5) | +20.0<br>(+10.4) |

## 【授業等の教育活動】

- 課題解決に向けて、児童生徒が、自ら考え主体的に活動に取り組むことや、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることができている。
- 授業で学んだことを教科の枠を超えて活用し、自分の考えをまとめたり、自分の思いや考えをもとにして、作品や作文など新しいものを創り出したりする学習の機会が充実している。
- 算数（数学）や理科の授業では、児童生徒が授業等で身に付けた知識・技能等を普段の生活の中で活用しようとしていることがうかがえる。
- 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画、考察まで取り組んでいると回答した児童生徒の割合が全国の平均を大きく上回っている。
- 道徳の授業では、考え議論する活動が取り入れられている。

※数値は「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」等、肯定的な回答の割合（％）  
（ ）内の数値は、肯定的な回答のうち「当てはまる」等と回答した割合（％）

| 質 問 事 項                                                         | 小学校 6 年生       |                  | 中学校 3 年生       |                  |
|-----------------------------------------------------------------|----------------|------------------|----------------|------------------|
|                                                                 | 秋田県            | 全国比              | 秋田県            | 全国比              |
| 前学年までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。                   | 84.6<br>(38.8) | + 7.3<br>(+ 8.3) | 86.8<br>(41.0) | + 7.6<br>(+ 9.8) |
| 前学年までに受けた授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。           | 83.0<br>(37.2) | +10.8<br>(+ 9.3) | 84.2<br>(38.4) | +16.8<br>(+16.4) |
| 前学年までに受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか。        | 81.3<br>(40.5) | +12.9<br>(+12.2) | 82.0<br>(38.4) | +14.8<br>(+14.2) |
| 学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。            | 85.6<br>(44.3) | + 5.5<br>(+ 6.6) | 88.6<br>(50.3) | + 9.9<br>(+16.2) |
| 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。                            | 94.3<br>(73.2) | + 2.5<br>(+ 7.7) | 93.4<br>(66.1) | + 3.7<br>+10.5   |
| 算数（数学）の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。                         | 79.5<br>(44.0) | +10.2<br>(+10.9) | 60.7<br>(24.9) | +13.4<br>(+ 8.5) |
| 理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。                             | 80.5<br>(49.2) | +12.6<br>(+14.1) | 69.8<br>(34.0) | +17.1<br>(+13.8) |
| 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか。                              | 87.4<br>(53.4) | + 9.4<br>(+12.9) | 83.6<br>(40.6) | +19.1<br>(+18.3) |
| 理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか。（観察や実験の結果をもとに考察していますか。） | 90.8<br>(58.2) | + 5.9<br>(+11.2) | 91.7<br>(55.0) | +12.8<br>(+19.2) |
| 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。                | 88.1<br>(53.0) | + 8.1<br>(+10.5) | 94.3<br>(61.6) | + 8.8<br>(+18.6) |

## 【ＩＣＴを活用した学習状況】

- ＩＣＴ機器の活用頻度については小・中学生ともに全国を下回っているが、ほとんどの児童生徒が学習の中でＩＣＴが役立つと考えていることがうかがえる。

| 質 問 事 項                                     | 小学校 6 年生          |                  | 中学校 3 年生          |                  |
|---------------------------------------------|-------------------|------------------|-------------------|------------------|
|                                             | 秋田県               | 全国比              | 秋田県               | 全国比              |
| 前年度までに受けた授業で、ＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を、どの程度使用しましたか。 | (週 1 回以上)<br>72.8 |                  | (週 1 回以上)<br>79.8 |                  |
|                                             |                   | -10.4            |                   | - 0.8            |
| 学習の中でＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。    | 96.7<br>(75.1)    | + 2.3<br>(+ 9.6) | 95.3<br>(66.8)    | + 2.7<br>(+10.1) |

## 学校質問紙調査の結果

### 【授業等の教育活動】

- 地域に根ざしたキャリア教育の取組を通して、児童生徒が自分の将来の姿を意識できるようにしている。
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて学習過程を工夫し、問題解決のプロセスを重視した探究型授業の充実を図っている。
- 各教科等で身に付けたことを、ほかの教科の学習や日常生活などでも意図的に使う機会を設けることで、生きて働く知識等の定着につなげている。
- 家庭学習の取り組み方の指導について、肯定的な回答のうち「よく行った」と回答した学校の割合が全国平均を大きく上回っており、学校全体での具体的な指導を通して習慣化につなげている。

※数値は「よく行った」「どちらかといえば、行った」等、肯定的な回答の割合（％）  
（ ）内の数値は、肯定的な回答のうち「よく行った」等と回答した割合（％）

| 質 問 事 項                                                                                  | 小 学 校           |                  | 中 学 校          |                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|------------------|----------------|------------------|
|                                                                                          | 秋田県             | 全国比              | 秋田県            | 全国比              |
| 前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか。                                                      | 91.8<br>(31.8)  | + 7.2<br>(+11.4) | 99.1<br>(51.4) | + 0.6<br>(+ 0.5) |
| 前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか。                                             | 92.4<br>(26.5)  | + 4.4<br>(+ 5.3) | 93.6<br>(22.0) | + 5.4<br>(+ 1.3) |
| 前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか。                                     | 89.4<br>(18.8)  | + 6.0<br>(+ 2.2) | 78.0<br>(11.0) | + 1.4<br>(- 2.4) |
| 国語の指導として、前年度までに、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書いたり、書き表し方を工夫したりする授業を行いましたか。              | 94.1<br>(28.2)  | + 1.4<br>(- 1.0) |                |                  |
| 国語の指導として、前年度までに、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり、表現を工夫して書いたりする授業を行いましたか。                  |                 |                  |                |                  |
| 算数・数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか。                                           | 84.1<br>(15.9)  | - 0.2<br>(- 2.0) | 86.3<br>(20.2) | + 3.5<br>(+ 2.7) |
| 算数・数学の指導として、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習（観察や操作、実験等の活動）を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか。 | 93.0<br>(37.1)  | + 0.6<br>(+ 7.4) | 90.8<br>(20.2) | +12.1<br>(+ 2.4) |
| 理科の指導として、前年度までに、自然の事物・現象から問題を見いだすことができる指導を行いましたか。                                        | 98.8<br>(28.8)  | + 4.9<br>(+ 0.7) | 99.1<br>(36.7) | + 4.7<br>(+ 6.1) |
| 理科の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか。                                              | 98.2<br>(34.1)  | + 4.0<br>(+ 3.2) | 99.1<br>(53.2) | + 2.3<br>(+11.1) |
| 前年度までに、児童（生徒）に対して、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか。                                        | 100.0<br>(69.4) | + 3.5<br>(+20.7) | 97.2<br>(63.3) | + 3.6<br>(+25.1) |
| 前年度までに、保護者に対して、児童（生徒）の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか。                                             | 98.8<br>(55.3)  | + 6.4<br>(+17.9) | 93.6<br>(36.7) | + 6.9<br>(+10.5) |

## 【ＩＣＴを活用した学習状況】

- ＩＣＴ機器の使い方を学ぶ研修の機会や、ＩＣＴ機器の活用に関して技術的にサポートする体制の充実が図られ、授業においてＩＣＴ機器を活用する学校の割合が高まってきている。
- 授業の中で、生徒が自分で調べる場面において、週１回以上使用させていると回答した学校の割合が、中学校で全国平均を上回った。
- 授業の中で、児童生徒同士がやりとりする場面において、週１回以上使用させていると回答した学校の割合が、全国平均を下回るなど、今後ＩＣＴ機器を更に活用する余地がある。
- 児童生徒一人一人に配備されたＰＣ・タブレットなどの端末を、日常的に家庭に持ち帰って活用させる取組をしていると回答した学校の割合は、全国の平均を大きく下回った。

| 質 問 事 項                                                                                        | 小 学 校           |                  | 中 学 校           |                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|------------------|-----------------|------------------|
|                                                                                                | 秋田県             | 全国比              | 秋田県             | 全国比              |
| 教員がコンピュータなどのＩＣＴ機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか。                                                      | 90.5<br>(42.9)  | － 4.2<br>(－12.9) | 93.5<br>(44.0)  | ＋ 2.7<br>(－ 6.3) |
| コンピュータなどのＩＣＴ機器の活用に関して、学校に十分な知識をもった専門スタッフがいるなど技術的にサポートできる体制がありますか。                              | 73.6<br>(41.8)  | ＋ 4.3<br>(＋ 8.1) | 75.2<br>(39.4)  | ＋ 5.9<br>(＋ 3.5) |
| 前年度までに、一人一人に配備されたＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を、授業でどの程度活用しましたか。                                             | (週１回以上)<br>94.0 | － 3.7            | (週１回以上)<br>97.3 | ＋ 1.7            |
| 調査対象学年の児童（生徒）が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、児童（生徒）一人一人に配備されたＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器をどの程度使用させていますか。 | (週１回以上)<br>80.6 | －11.6            | (週１回以上)<br>90.9 | ＋ 3.3            |
| 調査対象学年の児童（生徒）同士がやりとりする場面では、児童（生徒）一人一人に配備されたＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器をどの程度使用させていますか。                     | (週１回以上)<br>41.2 | －17.9            | (週１回以上)<br>43.1 | －12.3            |
| 児童（生徒）一人一人に配備されたＰＣ・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか。                                          | (毎日～時々)<br>12.4 | －54.5            | (毎日～時々)<br>15.6 | －46.2            |

## 【家庭や地域との関わり】

- 家庭や地域と緊密に連携して、児童生徒を育てている。

| 質 問 事 項                                                     | 小 学 校          |                  | 中 学 校          |                  |
|-------------------------------------------------------------|----------------|------------------|----------------|------------------|
|                                                             | 秋田県            | 全国比              | 秋田県            | 全国比              |
| 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか。                         | 93.0<br>(26.5) | ＋11.0<br>(＋ 6.7) | 91.7<br>(27.5) | ＋12.0<br>(＋ 8.9) |
| 保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか。 | 98.8<br>(52.9) | ＋ 4.2<br>(＋ 1.4) | 87.1<br>(27.5) | ＋ 9.6<br>(＋ 3.2) |

## 全国学力・学習状況調査結果の活用

### ◆概 要

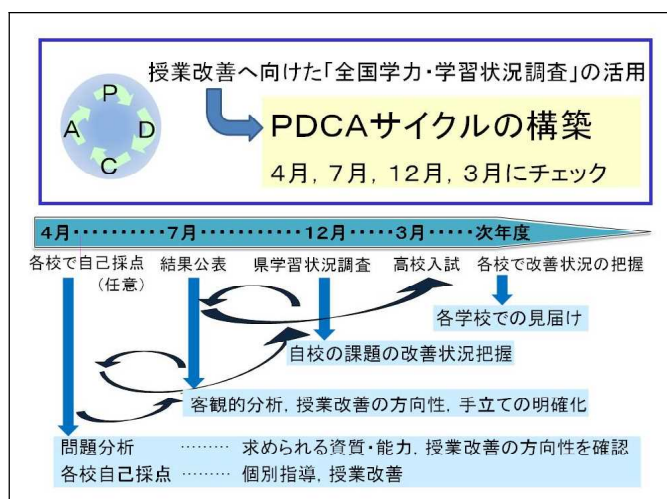
- ほとんどの学校が、全国学力・学習状況調査の自校の分析結果を全職員で共有するなどして、学校全体で活用している。
- 全国学力・学習状況調査の結果を県独自の学力調査の結果と併せて分析し、指導の改善等に活用していることについて、肯定的な回答のうち「よく行った」と回答した学校の割合が全国平均を大きく上回っており、学力向上に向けた検証改善サイクルの機能を効果的に生かしている状況が見られる。
- 全国学力・学習状況調査の結果分析から得られた成果や課題を、近隣の小・中学校と共有している学校の割合が全国に比べて高い。

### ◎学校質問紙調査結果より

※数値は「よく行った」「どちらかといえば、行った」等、肯定的な回答の割合（％）  
（ ）内の数値は、肯定的な回答のうち「よく行った」等と回答した割合（％）

| 質 問 事 項                                                                                         | 小 学 校          |                  | 中 学 校          |                  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|------------------|----------------|------------------|
|                                                                                                 | 秋田県            | 全国比              | 秋田県            | 全国比              |
| 令和３年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。                            | 98.2<br>(32.9) | + 2.3<br>(+ 3.0) | 98.2<br>(32.1) | + 5.5<br>(+ 8.5) |
| 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか。                       | 98.9<br>(42.4) | + 7.2<br>(+12.7) | 98.2<br>(35.8) | + 9.7<br>(+12.2) |
| 令和３年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校（小学校）と成果や課題を共有しましたか。                                          | 62.3<br>(17.6) | +17.8<br>(+ 5.7) | 60.5<br>(16.5) | +12.9<br>(+ 1.4) |
| 令和３年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか。（学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む。） | 88.3<br>(22.4) | + 2.1<br>(+ 2.7) | 79.8<br>(21.1) | - 0.8<br>(+ 1.2) |

○県教育委員会は、調査を有効に活用し、全国学力・学習状況調査、県学習状況調査及び高校入試を一体として捉えた検証改善サイクルを機能させることで、確かな学力を身に付けた児童生徒の育成に向けた各学校の取組を支援しています。



## ☆学力向上関連事業等

### ◆これまでの主な事業等

- 少人数学習推進事業〔少人数学級、ティーム・ティーチング等による少人数授業〕  
(H13～)
- 学習状況調査事業 (H14～)
- 教育専門監の配置 (H17～、義務教育課はH18～)
- 秋田わか杉っ子 学びの十か条 (H20～)
- 秋田わか杉 七つの「はぐくみ」 (H27～)
- 算数・数学学力向上推進事業 (H17～22)
- 学力向上推進事業 (H23～)
- “「問い」を発する子ども”の育成のための指針の作成 (H24)
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善充実事業 (H30、R1)

### ◆今年度の事業等

- 少人数学習推進事業
  - ・小学校第1学年から中学校第3学年までの全ての学年で少人数学習を実施
- 学力向上推進事業
  - (1) 学習状況調査事業
  - (2) あきたの教育力充実事業
    - ①学校訪問指導
    - ②学力向上支援Web・学習ポータルサイト
    - ③理数才能育成プロジェクト
- ICTを活用した秋田の教育力向上事業
  - (1) ICTを活用した授業改善支援事業
  - (2) 検証改善委員会
  - (3) オンライン・ミーティング
- キャリア教育実践研究事業
  - ・キャリア教育実践研究協議会
- AKITA英語コミュニケーション能力強化事業
  - ・小・中・高の一貫した英語教育の推進により、英語によるコミュニケーション能力の強化を図るとともに、グローバル社会で活躍できる人材を育成する。

## 資料 1

### 本県における全国学力・学習状況調査への参加概況

#### ○小学校

- ・参加校数 178校（内訳：市町村立176、特別支援学校1、秋田大学教育文化学部附属1）

※公立の学校のうち、170校が令和4年4月19日に調査を実施

- ・参加児童数（令和4年4月19日に調査を実施した人数）

|    | 公立（人） | 秋大附属（人） | 計（人）  |
|----|-------|---------|-------|
| 国語 | 5,928 | 85      | 6,013 |
| 算数 | 5,924 | 85      | 6,009 |
| 理科 | 5,924 | 85      | 6,009 |

※公立の学校のうち、特別支援学校の児童は2人

#### ○中学校

- ・参加校数 112校（内訳：県立3、市町村立106、特別支援学校2、秋田大学教育文化学部附属1）

※公立の学校のうち、109校が令和4年4月19日に調査を実施

- ・参加生徒数（令和4年4月19日に調査を実施した人数）

|    | 公立（人） | 秋大附属（人） | 計（人）  |
|----|-------|---------|-------|
| 国語 | 6,347 | 125     | 6,472 |
| 数学 | 6,341 | 125     | 6,466 |
| 理科 | 6,344 | 125     | 6,469 |

※公立の学校のうち、特別支援学校の生徒は2人

文部科学省から県教育委員会に提供されている本資料における結果（平均正答率等）は、秋田大学教育文化学部附属小・中学校を除く、公立学校分である。

## 資料 2



**秋田わか杉 七つの「はぐくみ」**

- 一 早寝早起き朝ごはん  
生活リズムは全ての基本
- 二 元気なあいさつ 明るい返事  
規則約束守るわか杉
- 三 読んで話して書いて高める  
「問い」を発する思考力
- 四 問題解決 子どもが主体  
授業の続きは家庭で学習
- 五 職場体験 インターンシップ  
地域で育む子どものキャリア
- 六 学校や地域の話題で語り合い  
将来の夢家族でえがく
- 七 ふるさとを支える自覚と志  
みんなで作る未来の秋田

※本県の未来を担う子どもたちを「わか杉」と呼んでいます。

### “秋田わか杉 七つの「はぐくみ」”の作成の経緯、基本的な考え方

県教育委員会では、平成27年度に“秋田わか杉 七つの「はぐくみ」”を作成いたしました。

全国学力・学習状況調査（文部科学省）において、全国トップレベルを維持している本県の学力やその基盤となる様々な要因については、全国からはもちろんのこと、海外からも注目されるところとなりました。

「第3期あきたの教育振興に関する基本計画」を策定し、「教育立県あきた」の実現を目指す今、児童生徒質問紙調査等から見える児童生徒を主体とした授業づくり、家庭学習の習慣、家庭や地域の教育力等、本県の財産とも言えるオール秋田でつくるすばらしい教育環境を“秋田わか杉 七つの「はぐくみ」”として発信し、「ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり」を目指したいと考えております。